

斎藤信也

さいとう しんや

新聞記者。

大正三年二月十一日福島縣石川郡山白石

村生れ、昭和六十一年十月三十一日歿（一九四一八七）。本名齋藤信也。

筆名白葉。弘前高等學校を経て、昭和十二年東京帝國大學文學部美學美

術史料卒。都新聞社入社と翌年朝日新聞社に移る。十六年海軍報道班

員としてキスカ、南太平洋方面に従軍。戦後二十四年から夕刊に連載

した『人物天気圖』（昭和二十五年十二月十日朝日新聞社。復刊・六

十二年）が好評を博す。二十三年東京本社社會部次長、翌年論説委員

となり、五十二年の退社まで夕刊コラム「素粒」を書き続けた。そ

の後『週刊新潮』に『酔中テレビ』を連載（昭和五十四年九月―五十

六年十一月）。他に『斜眼正眼』（昭和五十二年刊）、『記者四十年』

（昭和六十二年）出版。

『新聞記者斎藤信也―昭和を名文で綴った男』（斎藤信也遺稿追悼集）

編集委員会編、平成二年六月十五日素朴社）がある。



新聞記者 斎藤信也
 昭和を名文で綴った男
 斎藤信也遺稿追悼集編集委員会編

新聞記者 斎藤信也
 昭和を名文で綴った男
 素朴社